

## 平成24年度 事業計画

### 1 平成23年度の事業実績見込みについて

わが国の経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響を大きく受け、その後各種の政策などにより持ち直しが期待されるものの、先行きについては欧州の経済危機など海外景気の影響なども加わり、厳しさが薄れず、明るい兆しが見えません。

これらのことは、都政や区政にも影響を及ぼし、都税や特別区民税の減収を見込まざるを得ない状況に至り、歳出の削減を図りつつ、計画事業や新たな施策に取り組むこととしています。

このような中で、当センターの平成23年度の事業実績は、平成24年1月末現在、会員数1,208人、受注件数5,273件、就業実人員851人、就業延人員74,165人、契約金額3億42万円となっています。

会員数は高齢化の進行、生計維持の補完等を目的とした入会により9年連続で伸びていますが、契約金額は受注件数が増加しているものの一件当たりの契約額は小さくなり、さらに東日本大震災に伴う節電対策により区民会館、交流館、地域アカデミー等施設管理の減収が著しいものとなっています。しかし、事務、植木剪定、家事援助等の受注努力により、これらの減収を一定程度補い、最終的には前年度と同規模の実績を確保する見込みです。

### 2 平成24年度に向けて

昨年4月、会員及び役職員の理解と協力により、公益社団法人に移行することができました。

移行後は、単なる衣替えではなく、名実共に公益社団法人に相応しい事業展開を着実かつ適切に行うよう努めています。また、公益社団法人に移行しましたが、まだ過渡期であり、移行後第2年次としては、移行年で表出した様々な課題を改善し、組織や運営を軌道に乗せ安定化させることが不可欠です。しかし、シルバー人材センターを取り巻く情勢は厳しく、改めて次の課題に取り組む必要があります。

#### (1) 適正就業の徹底

公益社団法人移行により信頼性の向上が図れた一方で、コンプライアンス（法令遵守）が強く求められ、厚生労働省では指導の強化を示唆しています。

今後ともシルバー人材センターに関わる諸法令に抵触せず、高齢者に相応しい臨時的、短期的、軽易な仕事を拡大しつつ適正な就業に努めることとします。

#### (2) 財政面の安定化

公共、民間両分野共に、新年度において契約の解消や減少が見込まれているものがあるうえ、国からの補助金削減に続き、自治体からの補助金も削減が示されています。

このため、制度上の改善については、今後も全国シルバー人材センター事業協会や東京都シルバー人材センター連合を通じて、国や都に対して働きかけることとしますが、前年度に引き続き、さらなる事務事業の効率化、徹底した経費の節減に努めることとします。

### (3) 安全の確保、接遇の改善

シルバー人材センターは様々な仕事を請負っており、自らの不注意のみならず周囲からの要因により負傷するおそれがあります。もちろん、就業場所だけでなく、行き帰りの交通においても同様です。

また、就業日を忘れる、就業態度について発注者から指摘される、施設利用者や区民に対する不適切な態度や言葉使い、就業中の不注意による物損など就業におけるトラブルが発生しています。極めて初歩的、基本的な事柄ですが、一人の不注意でセンター全体の信頼を失い、ひいてはその業務の受注を失いかねません。

会員一人ひとりが、「就業に関する基準」及び「会員心得」に則り、自覚を持ち、安全の確保、接遇や業務遂行上の改善に努めることとします。

## 3 基本方針及び主な事業目標

シルバー人材センターは、元気で働きたいと願う高齢者の地域の受け皿として、臨時的・短期的・軽易な地域社会に密着した仕事を中心に請負い、提供するもので、生きがいの創出、活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献し、「福祉の受け手から社会の担い手に」を目標として事業を推進することとします。

今後、センターを取り巻く情勢が厳しさを増す中、会員の就業機会は会員自ら開拓し、適正就業を推進するという自主自立の精神に立ち返ることが、改めて求められます。

以上のことから、次のとおり、基本方針、主な事業目標及び事業実施計画を策定し、関係機関の協力を得ながら全会員一丸となり事業を展開します。

### (1) 基本方針

#### ① 就業機会の開拓を推進する。

より多くの区民や事業所にセンター事業を知っていただくために区の協力も得ながらPRに努めるとともに、区に対し政策目的随意契約（※競争入札によらない契約）を働きかけることとします。

#### ② 適正就業を推進する。

関係法令に抵触するおそれのある事業依頼については、適法となるよう内容を調整のうえ受注に努める。

なお、既存事業であっても同様に、適法への調整ができないと判断した就業は早期に終了する。

#### ③ 会員の拡充を図る。

シルバー人材センターの理念に賛同し、働く意欲を持った高齢者の加入を促進する。その際、特殊な知識や技能を持った高齢者については、今後の就業分野の拡充に資するため、経歴や資格等の詳細把握に努める。

なお、会費を滞納している会員については、納付を促してもなお1年間滞納した場合は、公平性の観点から定款に基づき資格喪失（退会）とする。

#### ④ 会員の自主・自立的な組織活動と共働・共助による就業を推進する。

地区地域班及び仕事別グループを中心に自主・自立的な組織活動を展開するとともに、共働・共助の精神に基づき会員間の連携を強化し、発注者との良好な関係を築き事業を進める。

#### ⑤ 会員の資質・接遇力の向上を図る。

各種会議、講習会、事業、会報などあらゆる機会をとらえて、就業日忘れ、言葉使い、態度などの改善に努める。また、適切かつ円滑な業務遂行に資するため仕事別グループ内において自主的に研鑽を重ねるとともに、しごと財団が開催する技能講座等を会員に紹介し、より高度な技能習得を図る。

⑥ 就業の安全確保を図る。

会員自身及び周囲に対する安全の確保は最も重要であり、会報等で繰り返し周知を図るだけでなく、会員一人ひとりが自覚を持って行動する。

⑦ 就業相談

事務局は、今後も日常的に気軽に就業相談が行える環境、雰囲気づくりに心がける。

会員は、未就業者相談会はもとより、事務局からの就業紹介を待つだけでなく電話や事務局窓口において積極的に相談を行うよう心がける。相談においては、全国シルバー人材センター事業協会やしごと財団等から提供された就業に関する情報を的確に活かす。

⑧ ボランティア活動の推進

公益性を高めていくために、都、区及び関連団体などと連携し、ボランティア活動を推進する。

(2) 主な事業目標

区 分	平成24年度目標	平成23年度実績見込	平成22年度実績
① 年度末の会員数	1,210人	1,200人	1,145人
② 就業実人員	890人	870人	850人
③ 会員の就業率	73%	72%	74%
④ 就業延日人員	88,000人日	87,644人日	83,788人日
⑤ 受託契約件数	6,100件	6,100件	5,677件
⑥ 受託契約金額	3億4,900万円	3億5,500万円	3億5,378万円
⑦ 配分金額	3億2,800万円	3億3,400万円	3億3,261万円

## 平成24年度事業実施計画

### (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員募集説明会	一日2回	人材センター事務局窓口 平日午前10・午後2時
「公益シルバーぶんきょう」の発行	年3回	全会員配布、6月、9月、1月頃に発行
「区報ぶんきょう」に掲載	年4回程度	センターPRの記事掲載依頼
リーフレットの配布等	随時	役職員、会員が区施設、各種イベント等で配布
ポスターの掲示	随時	区施設
インターネットホームページによる受注情報の案内	随時	<a href="http://www.bunkyo-sc.or.jp">http://www.bunkyo-sc.or.jp</a>
都営バス・文京区コミュニティバスの車内アナウンス	通年	シビックセンター前を運行するバス4路 ・ Bーぐる2路線

### (2) 高齢者の就業に関する調査研究

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員意向調査	年1回	継続就業基準該当会員等
会員現況調査	年3回	3ヶ年計画(第3年次)
センター事業の分析	随時	理事会、総務事業委員会、安全管理委員会等

### (3) 高齢者の就業に関する相談

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
新会員の職種の適性等相談	入会時	シルバー人材センター事務局窓口
未就業者相談会	年1回	役職員
地区・地域、仕事別グループ相談	随時	4地区会、仕事別グループ会

### (4) 希望と能力等に応じた就業機会の開拓及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
「区報ぶんきょう」に掲載	年4回程度	センターPRの記事掲載依頼
リーフレットの配布等	随時	役職員、会員が区施設、各種イベント等で配布
インターネットホームページによる受注情報の案内	随時	<a href="http://www.bunkyo-sc.or.jp">http://www.bunkyo-sc.or.jp</a>
ポスターの掲示	随時	区施設等
事業所訪問	随時	会員、職員
就業専門員による就業開拓	4月～3月	就業開拓、就業相談、就業調整等
継続就業調整会議	1月	担当役職員による継続就業職種への配置調整

(5) 講習会、研修の実施及び参加

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
新入会員研修	年4回程度	新入会員
役員研修	年1回以上	理事及び監事
職員研修	年1回以上	事務局職員
就業支援講習(しごと財団研修)	3コース程度	植木剪定、DIY等
交通安全講習会	年1回	交通誘導グループ会員
接遇・技能等自主研修会	年1回以上	各仕事別グループ内でリーダー・サブリーダー等が中心となり、接遇及び技能等の向上を図る。
健康管理等推進講習会	年5回	会員
その他の講習会、研修会	随時	役員、会員、事務局職員等

(6) その他の事業

① 会員の自主・自立的な組織活動

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
総務事業委員会	年10回程度	理事会議題調整等
安全管理委員会	年2回	安全管理委員会委員
安全対策連絡会	年2回	安全対策推進員
班長会	年3回	4地区33地域
地区全体会	年1回以上	4地区で開催
仕事別グループリーダー・サブリーダー会	年2回	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ全体会	各年1回以上	学校受付管理、児童館等12グループ
その他の会議	随時	

② 自主的組織活動への助成

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
地区地域班、仕事別グループ助成	随時	会場使用料、会議費、通信費等の助成
班長、リーダー等への活動補助	年6回	代表班長・班長、リーダー・サブリーダー

③ 社会奉仕活動事業

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
みまもり訪問事業	年間	社会福祉協議会事業が実施する75歳以上の高齢者への定期訪問等見守りに協力する。
東京大マラソン祭り2013	年1回	東京都が実施するマラソン事業に協力する。

④ その他

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
シルバーお助け隊（区補助事業）	年間	70歳以上の高齢者のみ世帯、障害者のみ世帯